

鷺浦町活性化計画 < 概要版 >

平成26年
(2014)
3月

1 計画策定の趣旨

- 鷺浦町では、島の活性化を図るために、平成2(1990)年から「トライアスロンさぎしま大会」を開催するなど、様々な活動に取り組んでいます。
- しかし、若年層を中心に人口が流出するなど、高齢化・少子化が進行し、町内会活動の担い手不足、公共施設施設の減少、島の基幹産業である農業の低迷など、島の活力が低下してきています。
- こうした状況を打開するには、自分たちの島のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して島の活性化に取り組むことが一段と重要になっています。
- このため、鷺浦町内会では、三原市中山間地域活性化事業を活用し、「鷺浦町活性化計画」の策定に取り組みました。

鷺浦町の位置



2 計画策定の取り組み

- 鷺浦町内会では、各種団体の代表者などとともに「鷺浦町地域計画策定委員会」を設置し、「鷺浦町活性化計画」の策定に取り組みました。
- 計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために、島内住民(16歳以上)、小学生(4~6年生)・中学生、島外に住み・島内で働いている人へのアンケート調査の実施、全住民を対象としたワークショップ(意見交換会)を行いました。



計画策定体制

鷺浦町地域
計画策定委員会

- ・町内会役員
- ・各種団体の代表者
など

三原市の支援

計画策定の流れ

(1) 計画策定の進め方の検討

(2) アンケート調査

(3) ワークショップ
(意見交換会)

(4) 計画案の協議・とりまとめ

(5) 計画の決定

3 鷺浦町活性化計画

島の将来像

住んで良し、訪れて良し、健康と癒しの島 鷺浦町

島づくりの基本方針

- 基本目標1 誰もが健康で快適に暮らせる島
- 基本目標2 島独自の豊かなライフスタイルの発信と定住・移住が活発な島
- 基本目標3 島という立地条件、多彩な資源を活用した癒しのある島

島づくりの基本計画

1 安全安心な長寿の島づくり

<高齢者の見守りの推進>

- 高齢者見守り隊の設立
- 見守りポットの導入と利用状況を一元的に管理できる仕組みづくり

<高齢者の生活支援>

- 高齢者などに対する島内配食サービスの提供、食堂、サロンの設置
- 高齢者に対する島内外の移送サービスの提供
- 高齢者の安全安心な生活の支援、ゴミ搬出の支援

<高齢者の交流・生きがい活動の推進>

- 交流の推進と身体能力に応じた就業の場の提供



2 定住・移住が活発な島づくり

<若者定住の促進>

- 各自の子どもへの定住の働きかけ、島に愛着と誇りを持つ子どもの育成
- 就業の場の確保（農業での雇用、島外への通勤など）
- 婚活イベントの開催

<UJターン者の促進>

- 賃貸、売買できる空き家の発掘、三原市と連携し、空き家情報の発信の強化
- 若者のお試し島暮らし体験の受入
- UJターン希望者に対する相談支援
- リタイアUターンの促進
- 島出身の若者との交流とUターンの働きかけ
- 島外居住者に対する住宅、農地などの適正な管理の働きかけ
- 島の生活、空き家情報、就業情報などの発信の強化



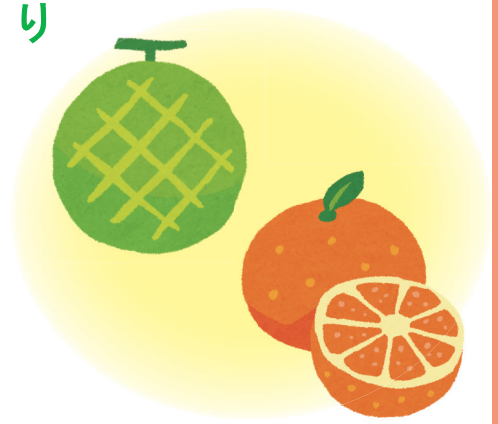
3 地場産業の振興による活力のある島づくり

<農地の保全と農業の振興>

- 官民共同での有害鳥獣対策
- 島内での農作業の助け合いの仕組みづくり
- 農業生産法人などによる農業に関心のある若者の受入など
- 農業所得で生活できるモデルの提案
- わけぎ、柑橘、メロンなどのブランド化と加工品づくり
- 遊休農地を活用した柑橘などの観光農園の運営

<その他の産業の振興>

- 遊休土地を活用した太陽光発電、潮の干満を利用した発電



4 島の個性を活かした交流と癒しの島づくり

<島固有の観光・交流戦略づくり>

- フィルムコミッション戦略による島のブランド化
- ファミリー層を対象としたヘルス・スポーツツーリズムの推進

<島の魅力体験メニューづくり>

- トライアスロンさぎしま大会の維持・活性化
- 四季折々のイベント開催、島の生活体験の提供

<おもてなしの充実>

- 食事、特産品販売、観光ガイド、島内送迎サービスの充実
- 宿泊施設の確保・活用、農家民泊の受入体制の整備

<情報発信体制の強化>

- マスコミの活用、ターゲットを明確にした情報発信

<イベント運営体制の強化>

- イベントスポンサーの募集、運営費の確保
- 島外の応援団を確保することによる島内負担の軽減



5 島民相互で支え合う島づくり

<島の結束力の強化>

- 区単位から島単位の取り組みの強化

<航路事業者と連携した航路維持対策の強化>

- 町内会と航路事業者との定期的な協議、航路の維持、利用促進に向けた連携の強化

<島内行事の見直し>

- 行事の単位を大きくする、一部行事の廃止の検討
- 子ども・若者に魅力のある行事の検討

<交流活動の推進>

- 世代間交流、趣味・教養、サークル活動の推進

<活動の担い手の育成>

- 誰もが参加しやすい活動の場づくり
- 島民に適材適所で活動してもらうための人材バンクの設立

<その他の取り組み>

- 災害時の避難場所・避難経路の確保



4 計画の推進体制

鷺浦町内会の活動目標

今立ち上がろう、島民の心を一つにして

計画推進に向けて

① 計画の周知，取り組みへの参加の働きかけ

② 計画の推進体制づくりと段階的な取り組みの推進

<計画の推進体制づくり>

- 町内会及び町内各種団体の連携による計画の推進体制づくり
- プロジェクトチームの設立による計画の具体化の推進
- 収益事業の受け皿となるNPO法人，町民出資の島づくり会社などの設立の検討

<段階的な取り組みの推進>

- 計画の優先順位付けを行い，段階的な取り組みの推進

<取り組みへの多様な担い手の参加の確保，人材の育成>

- 住民，各種団体，NPO法人，企業などとの連携の強化
- 島出身者及び都市住民の応援，三原市などの支援の活用
- 講習会，研修会，先進地視察などの開催による人材の育成



③ 情報の受発信体制の確立

<島内向けの情報受発信>

- 鷺浦町内会だよりの発行
- 若者世帯に対するインターネットを活用した情報の受発信

<島外向けの情報発信>

- 島を紹介するホームページ開設の検討
- 島に関係するホームページと連携したPRの推進



<問い合わせ先>

鷺浦町内会（鷺浦町地域計画策定委員会）